

「大阪名所 じっくりMAP」

近世大阪の立役者として、豊臣秀吉の名は外せません。府下各地にゆかりの史跡がありますが、西成区の地名・駅名として知られる「天下茶屋」もその一つ。紀州街道沿い「天神ノ森」の水は、秀吉や千利休、またその師・武野紹鷗(たけのけいようおう)にも愛でられた、茶の湯に適した名水でした。さて、紀州街道を南へ下ると大和川。昔から氾濫を繰り返した暴れ川でしたが、江戸時代中期に大規模な付け替え工事が行われます。ここで新田を開発した一人が、船場の豪商・加賀屋甚兵衛。「加賀屋」の名は住之江区の地名にも残り、また川沿いには新田会所をはじめ甚兵衛ゆかりのスポットが点在しています。今回は2人の偉人の史跡などを、下町の名物グルメと一緒に紹介します。



詳しくは裏へ!



西成区～住之江区 案内人 堀 埜 浩二 (ほりの こうじ)

イベント・プロデューサー、説明家、音楽家。1960年、大阪市西成区生まれ。大阪を拠点にさまざまなイベントやキャンペーンを手がけるほか、自他ともに認める「下町のエリート」として、街や店に関して雑誌『ミーツ・リージョナル』等に数多く寄稿。ライター仲間である曾束政昭氏との共著『大阪ソースダイバー』（ブリコロール・パブリッシング）では、下町とソースの関係について哲学的考察も加えながら、独自の視点で掘り下げている。

大阪を作った偉人たちの足跡をめぐる -西成区～住之江区-

